



医療情報連携ネットワークとは 調査・報告 ピックアップ事例 事例を探す 構築手順 FAQ 用語集 お役立ち情報

医療情報連携ネットワーク支援Navi > 村山地域医療情報ネットワーク

事例紹介

村山地域医療情報ネットワーク

べにばなネット

 <http://www.pref.yamagata.jp/ou/sogoshicho/murayama/301023/murayama-iryou-net.html>

システムの概要

システムの実施目的・地域など

参加団体数と参加患者数

参加の同意方法について

患者さんの同意取得の詳細

サービスについて

共有できる情報項目

共有情報の取得元

システムについて

通信ネットワーク

ログインセキュリティ

主なIT企業

サービス利用・参加料金

蓄積された個人情報の利用

予算について

費用の負担について

システムの概要

システム名 村山地域医療情報ネットワーク

代表団体 村山地域医療情報ネットワーク協議会

運用開始状況 導入済み： 2014年

稼働状況 サービス運用中

運用終了年

提供地域 山形

自治体の参加状況 運営主体として参画中

事務局運営人数 兼任4人

システムの実施目的・地域など

システムの導入目的

救急医療対策、周産期医療対策、医療連携、在宅医療対策、糖尿病対策、疾病管理、へき地医療対策、小児医療対策、がん対策、脳卒中対策、急性心筋梗塞対策

地域の課題

(△) 患者サービスが向上した

凡例：（○）効果あり、
（△）どちらとも言えない、（×）効果なし

- （△）患者の負担が軽減した
- （△）医療機関間で機能分化が進んだ
- （△）医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ
- （△）医療機関間の人的ネットワークが進んだ
- （△）医師の偏在を補う効果があった
- （△）患者紹介の円滑化が進んだ
- （△）地域中核病院のサポートが受けられるようになった
- （△）診療所の支援が受けられるようになった
- （△）業務全体の負担軽減
- （△）医師の負担軽減
- （△）看護師の負担軽減
- （△）事務職員の負担軽減
- （△）技術職員の負担軽減
- （△）従事者間の情報共有が向上した
- （△）従事者間の連携が向上した

システムの課題

・利用者の伸び悩み・実際、ネットワークを利用していない
保健所が事務局となっていることの事務処理能力の脆弱性・
ID-LINKとHumanBridgeの2つのシステムを併用しているこ
とによる操作の煩雑性

工夫した点

対象地域

二次医療圏での連携

参加団体数と参加患者数

参加団体と参加患者数

【病院】 実施中：14施設
【医科診療所】 実施中：60施設
【歯科診療所】 実施中：4施設
【薬局】
【介護施設】
【その他】

利用施設数の割合

登録患者数状況

実績数

登録患者数

15010

情報共有している患者状況

共有患者数

参加の同意方法について

医療機関等

医療機関地域全体で参加
医療機関施設毎の参加判断

介護施設・その他

患者さん

患者施設毎

患者さんの同意取得の詳細

新規の患者さん	同意書による取得
撤回する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
連携先の増加	連携先追加の同意書による取得

サービスについて

疾病	
サービス	退院時サマリ
補足・備考	情報開示病院毎に、開示項目や提供サービスは異なる。

共有できる情報項目

基本情報	患者基本情報、病名情報
文書	診療情報提供書、医師記録、サマリ、手術記録、看護記録等
オーダ情報	処方オーダ、注射オーダ、検体検査オーダ、放射線検査オーダ、内視鏡検査オーダ、生理検査オーダ
検査結果	検体検査結果、生理検査結果、画像
調剤結果	
その他	その他 情報開示病院により開示項目が異なる。

共有情報の取得元

共有情報の取得元	病院電子カルテより
----------	-----------

システムについて

連携方式	分散型
情報共有の形態	双方向での共有、参照のみ
患者IDシステム	HumanBridgeシステムを利用、ID-Linkシステムを利用
標準化ストレージ	
情報の保存場所	各医療機関の院内
障害対策	
厚労省標準規格の採用	

通信ネットワーク

医療機関等との通信	医療機関との通信IP-VPN、医療機関との通信インターネットVPN
介護施設・その他施設との通信	
患者さんとの通信	

ログインセキュリティ

医療機関・薬局用	IDとパスワード
介護施設・その他施設用	
患者さん用	

主なIT企業

企業名（1）	富士通（株）
企業名（2）	日本電気（株）（SEC）
企業名（3）	

サービス利用・参加料金

病院（開示施設）	実施中：有料 補足：開示病院の各システム利用料金 【HumanBridge】 300床以上／80,000円、200床以上／56,000円、200床未満 ／32,000円 【ID-Link】300床以上／86,000円、200床以 上／5,600円、200床未満／26,000円
病院（閲覧施設）	実施中：無料
診療所	実施中：無料
薬局	実施中：無料
介護施設	実施中：無料
患者さん	実施中：無料

蓄積された個人情報の利用

地域の医療費適正化の目的 で利用	実施なし/予定なし
学術研究等の公益目的で利 用	実施なし/予定なし
公益目的以外で利用	実施なし/予定なし

予算について

構築費用概算	180000（千円）
年間運用費用概算	
保守費概算	
その他年間費用概算	

費用の負担について

実施中システム構築費の負 担	自治体の負担
実施中システム運用費の負 担	参加施設の負担
実施予定システム構築費の	

負担

実施予定システム運用費の 負担

[◀ 事例一覧へ戻る](#)

[ページの先頭へ戻る](#) 

- ▶ 医療情報連携ネットワークはなぜ必要?
 - › 出発点は地域医療を良くしたいという思い
 - › 医療情報連携ネットワークの導入効果
 - › 利用者の声（導入効果）
- ▶ 医療情報連携ネットワークをどう作る?
 - › 医療情報連携ネットワークの構築手順
 - › 実施のポイント
 - › 利用者の声（苦労した点、成功要因）
 - › ガイドライン、書式例など
- ▶ 医療情報連携ネットワークの具体例を見る

- ▶ 医療情報連携ネットワークとは
- ▶ データで見る
- ▶ ピックアップ事例
- ▶ 事例を探す
- ▶ 構築手順
 - › 構築手順について
 - › Step1：計画
 - › Step2：構築
 - › Step3：運用
 - › Step4：更改
- ▶ FAQ
- ▶ 用語集
- ▶ お役立ち情報
 - › リンク集
 - › 資料ダウンロード